

製品安全データシート

会 社 ダイワ化成株式会社
 住 所 埼玉県さいたま市中央区新中里 5-7-1
 担 当 部 署 試験研究部
 電 話 番 号 048-685-2411 FAX 番号 048-685-2413
 緊 急 連 絡 先 048-832-3121
 作 成 1992 年 12 月 1 日
 改 定 2004 年 5 月 30 日

整理番号 9206IM

製品名	TG ブリリアントブルー
物質の特性	<p>単一製品・混合物の区別 混合物（水溶液）</p> <p>化学名 二ナトリウム=2-[ビス[4-[N-エチル-N-(3-スルホトフェニルメチル)アミノ]フェニル]メチル]ベンゼンスルホナート [BB と略す]</p> <p>成分及び含有量 BB 40% イオン交換水 60%</p> <p style="text-align: center;">BB</p> <p>化学式 : $C_{37}H_{34}N_2Na_2O_9S_3$</p> <p>官報公示整理番号 化審法 : 5-1632</p> <p>CAS No. : 3844-45-9</p> <p>EINECS No. : 223-339-8</p> <p>国連分類及び国連番号 : 該当せず</p> <p>PRTR 法 : 該当物質なし</p> <p>労働安全衛生法通知対象物質 : 該当物質なし</p>
危険有害性の分類	<p>分類の名称 : 分類基準に該当せず</p>
応急処置	<p>目に入った場合 : 洗眼の際、瞼を指で良く開いて、眼球・瞼のすみずみまで水でよく行き渡るように洗浄すること。</p> <p>皮膚に付着した場合 : 石鹼で充分洗浄した後、清浄な水で洗浄する。</p> <p>多量吸入した場合 : 直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。</p> <p>飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗い、水又は牛乳を与え、胃内を薄めてもよい。</p>
<p>以上の措置後、必要に応じ医師に連絡をとり手当てを受ける。</p>	
火災時の処置	<p>消化方法 : 燃焼源を絶ち、消化剤を使用して消化する。</p> <p>消化剤 : 砂、二酸化炭素、粉末又は泡沫等。</p>

漏出時の措置 出来る限り回収し、少量はウエス等で吸着し、多量の水で洗い流す。
吸着したウエスは速やかに焼却し、流出した製品が河川等に排出され環境への影響を
起こさないように注意する。

取扱い及び 取扱い：・眼、皮膚、衣類に触れないように適切な保護具を着用して作業する。
保管上の注意 ・局所排気装置を設置した場所にて、稼動下で取り扱う。
・容器を開封使用後は直ちに密栓する。
・容器を転倒、落下、衝撃を加える、引きずる等の粗暴な取り扱いをしない。
保管：保管場所を定め、直射日光を避け容器を密栓し、室温で保管する。

暴露防止措置 管理濃度：規定なし
許容濃度 日本産業衛生学会（1999年度版）：収載なし
設備対策：液の飛散による作業場の空気を汚染しないように、局所排気装置の設備、設
備の密閉化又は、全体換気を適正に行うのが望ましい。
保護具 呼吸用保護具：保護マスク等
保護眼鏡：保護眼鏡等
保護手袋：保護手袋等
保護衣：保護衣等

物理／化学的 外観：暗青色の溶液
性質 溶解度 水：任意に希釈可能

危険性情報 引火点：なし
(安定性・反応性) 発火性（自然発火性、水との反応性）：なし
酸化性：なし
自己反応性・爆発性：なし

有害性情報（人についての症例、疫学的情報を含む）（BBの場合）
（青色1号についてのデータ）

急性毒性¹⁾：ラット 経口 LD50 >2g/kg

亜急性毒性²⁾：ラットに本色素水溶液 250 mg/kg ずつ 1日2回3日間に皮下注射したが、4日目の
検査では特に異常を認めなかった。

慢性毒性³⁾：マウスに1日当たり本色素 1 mg ずつ食餌に混入して与え 500～700日観察した
が、発癌を認めなかった。

環境影響情報 データなし

廃棄上の注意 少量ずつ焼却、又は許可された埋め立て地等に廃棄する。

輸送上の注意 容器が破損しないように、水濡れや乱暴な取扱いを避ける。

適用法令 次のいずれの法律にも規制されない。
化審法、労安法、消防法、毒物及び劇物取締法、船舶安全法、P R T R法

その他

- 引用文献
- 1) Lu,F.C.,Lavall'ee,A.:Canad.Pharm.J.97,30(1064)
 - 2) Gvaham,R.C.B.,Allmark,M.G.:Toxicol.Appl.Pharmacol.1,144(1959)
 - 3) Waterman,N.,Lignac,G.O.E.:Acta Physiol.Pharmacol.neerl.7,35(1958)

記載の内容は現時点で入手出来た資料や情報に基づいて作成しておりますが、データや評価に関してはいかなる保証も成すものではありません。又、記載事項は通常の取扱いを対象としたもので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。尚、この情報は、新しい知見に基づき改訂することがあります。
